

資料提供	
平成30年2月13日	
担当課 (担当者)	伯耆国「大山開山1300年祭」 実行委員会事務局 鳥取県西部総合事務所 地域振興局 西部観光商工課 大山振興室内 (内藤)
電話番号	0859-31-9363

平井知事の春日大社訪問における『「古伯耆物」日本刀協働顕彰の会（仮称）」の設立について

奈良県春日大社が所蔵する太刀が本県の中西部（旧伯耆国）で作られた「古伯耆物」であることが判明したことを受け、平井知事が春日大社を訪問し、花山院弘匡宮司との面談等を行います。面談において、以下のとおり、「古伯耆物」日本刀を中心とした日本刀の素晴らしさをPRしていくこと等について協働、連携して取り組むため、『「古伯耆物」日本刀協働顕彰の会（仮称）」の設立について提案を行う予定です。

記

1 訪問日時

平成30年2月14日（水）午前10時45分から11時50分まで

2 場所

春日大社（奈良県春日野町160）

3 訪問日程

10時45分 「古伯耆物」日本刀の鑑賞（国宝殿）
その後 花山院弘匡（かさんのいん・ひろただ）宮司と面談（貴賓館）
その後 面談終了時間に応じて参拝
11時50分 終了
※全ての行程で花山院宮司にご対応いただきます。

4 『「古伯耆物」日本刀協働顕彰の会（仮称）」について

○「古伯耆物」日本刀の発見を機に、春日大社と鳥取県が協働、連携して以下の取り組みを行なう。

- ・春日大社御創建1250年と伯耆国「大山開山1300年祭」の連携したPR
- ・伯耆安綱の顕彰、PR
- ・古来からの日本の歴史・文化を今に伝える古伯耆物を中心とした日本刀の魅力のPR
- ・春日大社と伯耆国及び大山の歴史的つながりの検証 など

参考：「古伯耆物」日本刀について

- 春日大社の宝庫で見つかった太刀が伯耆国（鳥取県の中西部）の刀工によって平安時代後期に製作された最古級の日本刀と判明したとの発表が1月22日になされた。
- 持ち手付近の反り、刃文等の形状から平安時代末期に伯耆国で製作された「古伯耆物」と判断。また、古伯耆物であることは識者の一致するところであり、作者の銘はないものの、刀身の古さから、国宝「童子切」で有名な伯耆の刀工「安綱」の作の可能性があるとされている。